

2018 English Journal No.1



文責：英語科 三上有之

平成30年度の入学式が行われた4月9日（月）、英語科最後の入学生となる40名の生徒達が沢高ライフをスタートさせました。英語科には、普通科にはない学校設定科目の「インタラクティブ」（通称インタ）という授業があります。Interactive（双方向）という科目名からも分かるように、生徒同士または生徒と教員が英語でInteractiveにコミュニケーションを取りながら、英語による表現力を高めています。担当するのは、3名のJTE（日本人教師）とALT（英語指導助手：アメリカ人）です。オリエンテーションの際は、英語科の3年生が英語科の行事（English Day、国内語学研修（ホームステイ）、国際理解の日、小学校訪問等）について説明してくれました。



ENGLISH DAY



5月15日（火）には、英語科の1年生にとって最初の大きなイベントとなるEnglish Dayが行われ、一日中英語漬けの体験をしました。まず、MC（司会）を英語科の先輩である3年6組の吹越由規さんが見事な英語で務め、講師（ALT）紹介の後、英語科の2年生が今年のEnglish Day、国内語学研修（ホームステイ）、小学校訪問、国際理解の日等について、また、3年生が昨年12

月の海外修学旅行で訪れたシドニーやアカデミック英語集中講座等についてパワーポイントを使ってプレゼンをしてくれました。このイベントは、様々なActivityを通じて、英語の楽しさを知ること为目标にしています。午前中は、7人のALTが①CASUAL ENGLISH（カジュアルな英語）②FOOD（食べ物）③SMALL TALK（ちょっとした会話のコツ）④TABLE MANNERS（テーブルマナー）について教えてくれました。生徒達は、グループ毎に①～④の全てを体験しました。昼食後は、物語（SKIT）作りに挑戦です。事前にALTから「ジャンル」「登場人物」「場所」「フレーズ」が書かれたメモが渡され、生徒達はグループ毎にSKITを英語で考え、PROPS（小道具）を使って、クラスメートの前で演じました。ユーモアあり、笑いありと私たちの想像をはるかに越えるレベルでした。



沢高生、小学校で‘先生’に

英語科2年6組は、7月5日（木）に三沢市内の三つの小学校（岡三沢・木崎野・上久保）を訪問し、‘先生’として小学校3年生と2年生に英語を教えました。昨年の12月に続き、2回目ということで、教え方のコツをつかんでいる生徒も見受けられました。お互いに英語で挨拶をした後、What color do you like?と尋ねるとI like Blue.などと小学生の元気の良



い返事が・・・その後♪♪ABCDEFGH♪♪の歌を踊りながら歌ったのですが、小学生は、列毎に右へ左へと横に大移動しながらの大合唱でした。そしていよいよ、沢高生にとってのメインイベント Practicing the Alphabet A to M です。これは、黒板に貼られた動物のカードを使ってアルファベットを覚えるもので虎の絵を見て「T / Tiger」という沢高生の大きな声に続き、小学生も「T / Tiger」と言ってくれました。最後はこのカードを使ってBINGOゲーム。これも大歓声！実施後の生徒の声を紹介します。

- ・小学生はとても可愛く、私たちが言ったことをすぐに聞いてくれてすごいと思った。この経験を海外の修学旅行などに活かしたいと思います。
- ・英語科しか体験できない経験ができて良かった。年に1回だけでなくもっと行きたい。

HOMESTAY

9月29日（土）～30日（日）の2日間、三沢市国際交流教育センターを会場に英語科の1年生40名を対象に国内語学研修（ホームステイ）が行われました。これは、米軍基地がある国際都市三沢市という地域性を活かし、様々な国の人とコミュニケーションをとることで異文化理解を深めることを目的にしています。初日は、ホストファミリーに日本の文化を紹介しました。グループ毎にテーマ（日本の祭り、食べ物、スポーツ等）



に沿って調べたことを写真や映像を用いてプレゼンしました。「Yukata」をテーマにしたグループは、ホストファミリーにも実際に「Yukata」を着てもらい記念写真。プレゼンが終わるといよいよホームステイです。この日のために覚えた様々な会話表現を実際にためすチャンスと張り切って各家庭に向かった後は、夕食の他、ショッピングやボーリング・・・と各家庭毎に

大いに楽しみました。2日目の午前中はホストファミリーと過ごした後、センターに戻ると Special Cake が待っていました。

